

10/5 道下地区体育祭 開会式

〈道下小学校グラウンド〉



新校舎 3 階から撮影

道下公民館だより

No. 81 号

発行者 大崎 勇
編集者 編集委員会
TEL 0765-22-2285
ホームページアドレス
<http://www.nice-tv.jp/~michi-k/>



道下詩吟教室のみなさん



新校舎を案内してもらいました



たくさんの方々が出席されました

6/8

地区敬老会

〈道下小学校体育館〉



蜷気楼節でフィナーレ



美しい舞、凛々しい姿





11/1.2 道下ふれあい文化祭 ～公民館改築20周年～



★北鬼江獅子舞



★子ども うまいもん広場



★子ども神輿の町ねり



★マンドリン・ギター合奏



★青島保育園児のかわいい踊り



★天狗登場



★祝賀の舞



★卯月会の皆さん



★フラダンス教室の皆さん



★自前の衣装で「旅鴉」を演唱



★子ども達が活躍したお茶席



★ビューティハーブの皆さん



★寸劇「おおおかさばき」



★地域の皆さんから寄せられたみごとな作品★

参加 カントリークラブ
三十二名
優勝 四分一義三
(青島三区)
準優勝 細田 昇
(北中区)
参勝 観堂 純克
(北鬼江三区)

第18回 道下地区
住民ゴルフ大会
7/27

【グランドゴルフ】四位 会場：桃山運動公園
金物 正男 山本 博久 中川 孝
小林美恵子 加藤 好子
【ターゲットゴルフ】六位 会場：桃山運動公園
高林 敏 室口日出輝 山城 信行
細田 昇 木下 勝則
【キンボール】六位 会場：ありそドーム
三村 美幸 後藤 有博 杉本 一利
岡田 誠 岡田真紀子 島崎美奈子

谷さん 日本新!
11/2
重量挙げの日韓中
フレンドシップト
ナメント大会に於い
て谷綾野さん(北中区)
がトータル206キ
ロで三位に入り、従
来の日本新記録を1
キロ更新した。

魚津市スポーツ
レクリエーション祭
10/13

【ミニテニス】優勝 会場：ありそドーム
山口 剛 元野 岩雄 川岸 正治
山口 京子 古川佐緒里 野々美也子
【ユニホック】次勝 会場：総合体育館
成瀬 智哉 木下 英暖 谷島 達也
小黒健太郎 青山 浩 狐塚 智美
前屋 宏美 高橋 陽子 宮崎加奈子
寺田 祐介

総 合 成 績**10/5 道下地区体育祭 ～新しいグラウンドで～**

優 勝	青 団	988点
準優勝	黄 団	965点
3 位	赤 団	949点
4 位	緑 団	908点
5 位	白 団	822点



★綱引き



★むかで競争



★障害物競走



★男女共生時代



★リサイクル活動



★小学生リレー



★優勝杯授与（青団）

今年の体育祭は道下小学校の新しいグラウンドでの開催となりました。競技開始時、青団の参加人数得点は4位、1位と80点もの差がありました。体育委員と青年会で熱心に競技への参加を呼びかけた結果、参加選手の活躍と応援の皆さんのおかげで着実に得点を伸ばすことができました。途中、ボーナス加点の抽選や競技中のハプニング等に一喜一憂しましたが、最終種目のリレーも制し、久しぶりの総合優勝をすることができました。町内の皆さんのご協力、そして、公民館はじめ関係の方々に深く感謝申し上げます。

久しぶりの総合優勝

青団 団長 本元 富夫

8/3 じゃんとこい魚津祭り せいこみ蝶六踊り街流し

2008年テーマ：魚の津（さかなのみなと）



★おなじみの三味線隊



★チーム「みちした」128名



★いぶしぎんの手踊り隊



★躍動感あふれる はねそ隊



★光るポニョを胸につけた扇子踊り隊



★小学生もはねて踊りました

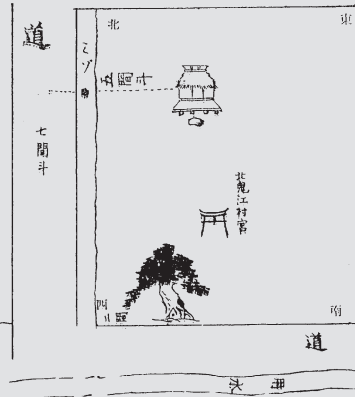
寄稿

藩政時代の魚津漁業と北鬼江神社の大松

魚津町誌等より

藩制時代ノ産業 米ノ網沖ノ網一件

文久二年(紀元二五二二) 九月七日北鬼江村出役ノ事



米ノ網沖ノ網一件 藩制時代ノ産業 米ノ網沖ノ網一件 文久二年(紀元二五二二) 九月七日北鬼江村出役ノ事

北鬼江村 藩制時代ノ産業 米ノ網沖ノ網一件 文久二年(紀元二五二二) 九月七日北鬼江村出役ノ事

北鬼江村 藩制時代ノ産業 米ノ網沖ノ網一件 文久二年(紀元二五二二) 九月七日北鬼江村出役ノ事

ここに一枚の絵図がある。明治維新の六年前に描かれたものであり、当時の魚津漁業の操業史にとって欠かせない史料である。

漁業は加賀藩時代にあつては、場所不定の竿吊り以外、全て役所の免許がなければできないことになっていた。しかし、漁業権には定められた漁業法はなく、永年の慣行により古くから成立した村が漁場を占有し、後代に成立した村は漁業権から締め出されていた。また個人、組合如

何を問わず一度権利を得ると漁業税の納税義務は負うが、陸地の田畑のように所有地主はその権益を保護され、その売買、譲渡、賃貸は自由であった。

漁場は網場の設定により成り立つが、当時の富山湾沿岸には無数の定置網、地引網が張り巡らされており、その主力は台網漁業である。

魚津を中心とした新川郡の漁業、浦方(漁師方)制度は田地方(農村)と宿方(町部)に明確に区別され、その操業

は町奉行の管理下にあり、道下地域は海に面しておりながら浦(漁場)を有せず、したがって海上漁獵に従事することができなかった。

魚津の定置網漁業は室町時代に遡る。能登島から移住して来た島崎藤左衛門の祖先、井筒藤左衛門が沖の網を工夫し漁場を開拓したのが始まりと言われている。以来藩政時代には内住吉、沖住吉など十三の網が名を連ねていた。

この台網(漁場)の設置については、漁業者の提出した願書の通りの場所に網が下ろされるかどうか最大の関心事であったが、魚津の漁業は網の増設、潮流の激しさ、縄網の弱さ、さらに所有権者の移動等々による漁場の移動に伴う紛争が絶えず生じていた。

海中の領界は陸上の目標の二点(沖山・前山)を貫く線によって定められていたが、藩期においてはその紛争の解決のため、度々海上の絵図を作成していた。この絵図もその争いを鎮めるための資料の一つであり、当時の北鬼江神社の大松が漁場設置にあたり、その目当山の沖山を示す所として描かれている。

絵図の記述の概要は、米の網、沖の網の争いを解決するために過去の資料を調べたところ、北鬼江神社の松が沖山として示されている。町役人や村肝煎などが現地神社に来てさらに調査した。結果、今はともに無くなっているが、往古北鬼江神社には二本の大松があった。また今から四十年から五十年前にも台網の紛争があり、当時の関係者が魚津町役人中村方に出向き申し立てたところ、時すでに松が一本伐採されていた。その伐採跡が黒丸印の所であり、その所に旗を立て、もう一本の松にも旗を立て懸け沖合に掲げたところ、目当てとしての沖山は当時の大松の場所に相違なかった。云々」と記している。

さらにこの絵図には、神社の社殿が現在のように神殿、拜殿を併せ持つ八幡形式ではなく、小さな祠として描かれている。櫓や銀杏の木もない。このことから今も今の神社は明治の廃仏希釈紛争以降建立されたものと推測される。

しかし、神社とともに有ったと思われる大松(樹齢約三百年以上)の存在は村の歴史を室町以前に遡らせる一つの手懸りと云えるのではないだろうか。(道下の歴史を語る会)

受賞

おめでとう
ございます財団法人富山県防犯協会
平成二十年
地域防犯功労者表彰

七沢 秋政さん

(青島一区)

編集後記

今年は、道下公民館の改築20周年という節目の年になります。この節目の年を記念し、現在「道下公民館だより」の過去のもの縮刷版にして刊行することを考えています。

しかし、肝心な第1号をはじめ不足しているものはいくつかあります。

もし、過去の公民館だよりをお持ちの方がおられましたら、一度拝読させていただきたいと思っております。公民館へご連絡ください。ご協力をお願いいたします。

今年も、皆様の多大なご協力のおかげを持ちまして、公民館の大きな行事は、無事終了致しました。来年も、変わらぬご支援ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

道下地区の人口

(平成20年11月1日現在)

男 3,071人(+13)

女 3,204人(-12)

計 6,275人(+1)

世帯 2,277戸(+23)

※カッコ内は前号対比